

東永谷中だより

～自ら学び 共に学び 心かよう東永谷～



横浜市立東永谷中学校

横浜市港南区東永谷2-14-7

TEL 045-823-9901 FAX 045-826-3113

令和8年 10月号

『 探究のすすめ 』

副校長 山田 文映

「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」これはかつて40年間に渡って一万円札の顔であった福澤諭吉さんの『学問のすすめ』という本の有名な一節です。学ぶことによって、人は自らの世界を広げ、自分の力で未来を切り拓いていく——そんな思いが込められています。福澤さんは自由な発想をととても大切にされる方だったようです。

東永谷中学校では、学校全体で探究学習をすすめています。「地域に貢献できる人になるために」という大テーマのもと、各学年で「防犯」「防災」「ゴミ処理」「経済」「地域活性化(少子高齢化を含む)」というグループに分かれて学習を展開しています。通常の授業とは異なり、自ら問いを立て、調べたりインタビューしたり、ポスターをつくったり地域の行事に参加したりとその方法は様々で、他の教科のように、教科書がある学びではありません。方法も考えながら進めていくので、試行錯誤しながら、思ったような答えがはっきり出ないこともしばしばあります。「教科書がある方がやりやすいのに」「はっきりした答えが出ないから難しい」と思っている人も多いかもしれません。

生徒の皆さんが東永谷の地域をテーマにしているので、私も少しだけ調べてみました。江戸時代、この辺りは鎌倉郡永谷村と呼ばれ、農村が広がっていました。江戸時代末期に横浜が開港してから、外国の文化が入り新たな産業も盛んになりました。鉄道ができ道路ができ、学校ができ、地域の活動が生まれ、人と人との繋がりが育ってきました。「東永谷」という地名が使われるようになったのは、昭和50年代、今から約50年前です。きっと一人一人の「こうしたい」「こうなったらいいな」という願いがあったはずで、今の東永谷は、これまでここで暮らしてきた多くの人たちの「想い」と「工夫」と「実践」の積み重ねによってできていると思います。

さて、今後の東永谷をつくっていくのは、誰でしょうか。それは、今を生きる私たちであり、未来を担う生徒の皆さん方です。「もっと笑顔があふれるまちにしたい」「安心して暮らせるまちにしたい」「誰もが住みやすいまちにしたい」そんな一人一人の想いをもとに、調べ、考え、誰かに伝え、そして行動に移す。その小さな一歩が、やがて地域を変える大きな力になります。皆さんが作ったポスターが地域の方の目に留まる、皆さんがお祭りに参加して地域の方が集まり楽しむ、皆さんが伝えたことが地域の方々の役に立つ、この半年の間にそんな場面を幾度も目にしてきました。沢山の方々との繋がりをもち楽しさを私自身もとても嬉しく感じて過ごしています。探究とは、答えを当てることではありません。自分で問いを見つけ、仲間や地域の人と関わりながら、答えをつくっていくことなのかなと思っています。

福澤諭吉さんによる「学問のすすめ」が書かれたのは明治時代、まだ日本がこれからどう変化していくのか誰もわからなかった頃です。この本は当時、大ベストセラーとなり、学校の教科書としても多くの子ども達に読まれ、影響を与えました。福澤さんは、ただ教わるだけでなく、疑問をもって追究していくことが大事と、他にも沢山の本を書いたそうです。そうして多くの人々に影響を与えた人なので、一万円札の顔となったのです。

50年後の東永谷はどんな町になっているでしょうか。皆さん方一人一人はどんな人生を歩んでいるでしょうか。未来は、誰かがつくってくれるものではありません。一人一人の「想い」と「行動」から始まります。多くの方々との出会いに感謝しつつ正解のない未来へ向けて、探究を進めていきませんか。私もその端役を担うことが出来たら嬉しく思います。

東永谷中学校総合防災訓練 実施

9月1日、地震発生後の余震を想定した校内待機訓練および保護者への引き渡し訓練を実施しました。

今回の訓練では、地震発生後にすぐ校庭へ避難するのではなく、余震の危険性を考慮し、安全が確認されるまで教室で待機するという、これまでとは異なる場面を設定しました。生徒たちは放送や先生の指示をよく聞き、落ち着いて行動することができました。

訓練後の振り返りでは、「余震を想定した訓練は初めてで、いつも以上に緊張感をもって取り組めた」「地震が起きたときは校庭へ避難すればよいと思っていたが、状況によっては校内待機の方が安全な場合があることを知った」「待機時間が長く不安だったが、実際の災害ではさらに長く待つこともあると学んだ」などの感想が多く寄せられました。また、「家族と避難場所や連絡方法について話し合った」「通学路の危険箇所について考えるようになった」など、防災意識の高まりが感じられる声も見られました。

引き渡し訓練については、「本人確認をしながら確実に引き渡しを行う仕組みが分かった」「先生方と保護者が協力して安全に引き渡しを進めていた」「本当に災害が起きた際の安心につながると思った」といった感想が寄せられました。一方で、「大きな地震が発生した場合、迎えがすぐには来られないかもしれないことを考えた」「家族と離れているときに災害が起きた場合の行動について考えるきっかけになった」など、災害時をより現実的に捉える姿も見られました。

保護者アンケートでは225件の回答があり、「災害時の学校の対応や引き渡しまでの流れについて理解できた」と回答した方が220人(97.8%)に達しました。このことから、多くの保護者の皆様に訓練の目的や流れをご理解いただけたことが分かります。また、今回の訓練をきっかけに防災について家庭で「具体的に話し合った」「少し話し合った」と回答した方は97人(43.1%)、「これから話し合いたい」と回答した方は109人(48.4%)でした。訓練が学校だけでなく、各家庭においても防災を考える機会となったことがうかがえます。

災害はいつ発生するか分かりません。今回の訓練を通して、生徒たちは「命を守るためには、その時の状況に応じて安全な行動を判断すること」が大切であることを学びました。学校では今後も様々な状況を想定した防災教育を継続し、生徒が自ら考え、適切に行動できる力を育ててまいります。

ご多用の中、引き渡し訓練およびアンケートにご協力いただいた保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。学校・家庭・地域が連携しながら、防災意識の向上に努めてまいります。
(防災担当教諭)

生徒たちの感想より (避難訓練・引き取り訓練)

- ・クラスでとても緊張感を持って取り組めていて良いと思いました
- ・移動している間に余震とかが来るよりは、机の下に隠れたほうが良いと思った
- ・地震があったら外に出ると思っていたから、出ない場合もあると知った。
- ・実際地震が起きた時に対応できるよう、様々な形の訓練を身につけることは大切だと思いました。
- ・実際迎えまでどれくらいかかるのかわからないけど、実際本当の状況になったらもっと全体が混乱していて引き渡しに時間がかかるんじゃないかと思った。
- ・実際に大きい地震があったときの引き渡しについての動きが再確認できて良かったです。
- ・ずっと教室の中にいるから、しっかりと放送の内容を聞き取れないと安全に引き渡しまで待つことができないことを理解しました。実際のときはもっとパニックに陥っていると思うので、この訓練を思い出して落ち着いて正しい行動が迅速に取れるようにしたいです。

もうすぐ東中祭です

10月8日(木)、9日(金)はいよいよ東中祭が行われます。本番に向けて日々校舎のあちこちから合唱練習の歌声が聞こえています。東中祭実行委員長と音楽科担当教諭からのメッセージを紹介します。

東中祭実行委員長の坂倉です。今年のスローガンは「百花繚乱 ～1人ひとりが主役のステージ～」です。百花繚乱という言葉には、たくさんの花が色鮮やかに咲き誇るという意味があります。僕たち一人ひとりが個性や才能という花を咲かせて、東中祭を華やかに彩りたいという思いを込めました。ステージで発表する人や作品を作る人はもちろん、準備や運営を裏で支える人まで、全員が大切な主役です。お互いの良さを生かして協力し合って、僕たちにしかできない最高の東中祭を作り上げていきたいと思っています。

今年度は、大きな変更点があります。これまで12月に行っていた「展示の部」を、今年度は10月に実施することになりました。10月8日の「文化の部」の日に保護者の皆様向けの展示参観を行いますので、ぜひ生徒たちの作品をご覧いただけると嬉しいです。なお、生徒同士の鑑賞は翌週の朝の時間に行います。

本番まで残り1か月を切り、実行委員の準備だけでなく、各団体の発表やクラスでの合唱練習も本格的になってきました。本番当日、皆様に成長した僕たちの姿や成果を見ていただけるよう、全校生徒一丸となって頑張りますので、楽しみにしてください。

東中祭実行委員長

まもなく東中祭当日です。音楽の授業やクラスの練習時間の歌声に、日に日に厚みが増してきました。歌へ対する気持ちや歌声が思うようにそろわず、悩む日もあったでしょう。それでも、互いの声に耳を澄まし、意見を交わしながら1つの音楽を目指して努力する時間が、クラスのつながりを育てています。

合唱は誰か1人の力では完成しません。全員の思いと声が重なった時、今の仲間できしか生み出せない音楽になります。本番では上手に歌うことだけにとらわれずに、これまで積み上げてきたものを自分たちらしく届けてください。そして、他のクラスや学年、出演団体の努力の成果にも耳を傾け、大きな拍手でそれらを称えてください。

互いの頑張りを認め合い、それぞれのよさが輝く、心に残る2日間になることを願っています。

音楽科教諭

東永谷中学校 東中祭

令和8年10月8日(木) 文化の部・展示の部

令和8年10月9日(金) 合唱の部

この二日間は給食がありません。ご家庭で昼食の準備をお願いします。

※ 今年度の展示の部は、昨年と異なる形式で実施いたします。保護者の皆様が展示をご覧いただける日は10月8日(木)のみとなります。詳細はプログラムをご覧ください。12月の鑑賞はございません。



9月29日(火)
合唱リハーサルを
行いました。



安心安全、快適な学校生活に向けて ～施設を整える～

学校の施設環境を整えることが、学校事務の仕事の一つです。今年度は、年度初めから扉関係の修理を立て続けに行いました。裏門のレール部品の破損、職員玄関のヒンジ劣化による開閉不良などがあり、直るまでの間は職員や生徒だけでなく保護者や地域の皆様にもご不便をおかけしました。一方でこうい



った修理だけではなく、施設をより使いやすく改修する工事を行いたいと思っていますが、先日やっと音楽室の扉を両開きのスチール扉に改修することができました。楽器運搬などもしやすくなり、生徒や先生に喜んでもらえてとても励みになりました。

続けて被服室の机の天板の貼り替えを行い、こちらでも喜んでもらえるといいなと思ったのもつかの間、今度はまた別の修理案件が発生し・・・と、施設環境整備に終わりはありません。限られた予算の中で優先順位を考えながら、ひとつずつ対応をしていきます。

引き続き、教職員と連携しながら、生徒や教職員が快適に過ごせるよう、学校環境の整備に取り組んでいきたいと思っています。

(学校事務)

スクールカウンセラー 10月の予定

火曜日担当	6日(火)	13日(火)	20日(火)	27日(火)
水曜日担当	7日(水)	14日(水)	21日(水)	28日(水)

<10月の予定>

- 1日(木) 個別支援級合同体育祭(三ッ沢競技場)
- 8日(木) 東中祭 文化の部
- 9日(金) 東中祭 合唱の部
- 13日(火) 期分け式
- 13日(火)～26日(月) 後期教育実習
- 14日(水) ⑤後期委員決め
- 16日(金) 児童生徒交流日
- 19日(月) 学力分析テスト
- 19日(月) 後期3年進路説明会
- 21日(水) 全校集会(委嘱式)、専門委員会
- 22日(木) 2年マリノス食育講座
- 26日(月) 給食アレルギー対応確定締め切り
- 27日(火) 2年認知症サポーター養成講座
- 28日(水) 1,2 情報モラル研修
- 28日(水) 市総体閉会式
- 29日(木) 1年職業講座
- 29日(木) 2年金融教育
- 29日(木) 第二回学校運営協議会



※予定は変更の場合があります。